

2007年（平成19年）年頭にあって
病院長 仙賀 裕

はじめに

新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

昨年は、新病院開院に尽力を尽くされた宮下病院長、秋山副院長、吉田事務局長が一度に退職され、現体制になった最初の年でした。また、新病院全面開院3年目の年でもありました。

年頭にあたり、今年の病院運営について概略を述べたいと思います。

1 DPC についての対応

DPC(Diagnosis Procedure Combination)とは、急性期入院医療に係る診断群分類別包括評価のことですが、簡単に言うと、入院患者さんの医療費が1日あたり定額（一部を除く）で算定される新しい支払い方式のことです。

DPCを導入すると、クリニカルパス（一定の疾患や疾病毎に、患者さんに対して多職種連携により提供される医療をスケジュール表のかたちにまとめたもの）等を積極的に併用し、治療を計画的に行うことにより、入院期間の短縮と適正化が可能になり、患者さんの負担が軽減することになります。

当院は、DPC導入への取り組みが遅れていましたが、平成20年度導入を目標に、今年は副院長を中心に準備を行ってまいります。

2 診療報酬改定への対応

診療報酬は、2年ごとに改定され、今回は、今年の4月にマイナス 3.16%



の改定があり、少なからず当院も影響を受けました。その代表的なものは、急性期加算の廃止でした。一方、小児医療への診療報酬増は、小児医療に取り組んで来た当院にとってはありがたいものでした。

急性期加算は廃止になりましたが、急性期加算の算定要件であった紹介率は、地域の病院・診療所と当院の連携状況を表す指標でもあり、今後も紹介・逆紹介が増加して行くよう病診連携を積極的に推進してまいります。

また、リハビリテーションの日数制限と疾患別リハの問題など多数ありますが、良質で適切な医療を考えながら対応してまいります。

3 がん治療への対応

本年4月には、放射線治療を開始するため、現在、工事を行っております。

今後、外来でのがん治療の充実を図るため、外来化学療法室についても現在整備を行っております。

放射線治療が開始されると、がん治療の三本柱である手術、化学療法、放射線治療が当院で可能となり、市民、患者さんから長年にわたり要望されて

いた事の一つがやっと実現することが出来るようになります。

4 救急医療体制への対応

昨年は、市民が24時間安心して暮らせるよう、二次救急を中心とした救急医療体制を充実させるため、専任の救急医療部長を配置いたしました。

また、救急隊員に対する指導、助言や、救急救命士への研修、再教育を積極的に行い、消防機関との連携がより一層図れるようになりました。

昨年、藤沢市民病院に三次救急を中心に扱う救急救命センターが開設されたこともあり、今年は、藤沢市民病院と更に連携を図ってまいります。

5 勤務医、看護師不足への対応

地方だけではなく神奈川県でも勤務医、看護師不足は大きな問題になっています。どこかひとつの科の勤務医が辞めてしまうと、他の科にも影響し、病院の存続にも関係してしまいます。

また、新たに診療報酬で認められた入院基本料看護職員配置7対1のため、看護師が大学病院等、大規模病院に集中しており、安全、安心の看護が困難になった病院も見受けられます。幸にも、当院ではそのような事態にはなっていませんが、市民、患者さんに安心していただけるよう、職員の確保は、病院長の責務として果たして行きたいと思えます。

6 臨床研修医制度への対応

今年は、4月から新卒5人の研修医を採用し、昨年採用の4人と合わせ、9人の研修医が当院で勤務いたします。良質な医療を提供できる医師になれる

よう研修内容を充実させていきます。

また、研修を終了した医師のために後期研修医プログラムを充実させ、将来的に当院に勤務する医師を指導・育成してまいります。

7 市民の健康管理への対応

昨年は、隔週土曜日に「市民なんでも健康相談」と毎月一回の「出張講座」を開始し、好評を得ています。

今年は、土曜日の人間ドック開始にむけて準備を進めております。

8 安全管理への対応

安全で信頼される医療を提供するために、昨年は専従のリスクマネージャーを配置し、医療安全管理委員会を中心に全職員が、医療事故防止に努めてきました。

今年も安全のための研修を充実させ、安全安心の医療を提供して行きたいと思えます。

終わりに

一人ひとりの患者さんに対して、医師、看護師のほか、栄養士、薬剤師、各種療法士等がチームプレーを発揮し、それに放射線技師、検査技師が加わり、さらに、支え役として、時には潤滑油として事務がうまく調整してくれることにより、茅ヶ崎市立病院での安全、安心で良質な医療の提供が更に充実して行くものと思えます。

本年も当院は「いたわりと生きがいのある健康で安全なまち」を作るため、さらなる努力をして行きたいと思えます。

当院にご理解とご支援をよろしくお願いいたします。